

飛鳥山3つの博物館めぐり (2018/9/28)

by 芳賀

9月の長雨の合間を縫って、よくぞ晴れてくれた28日(金)に15人の老若(?)男女が西武線の池袋駅に集合し、いざ王子駅に向けて出発しました。通勤時間帯を過ぎても、まだ混雑している山手線と京浜東北線を乗り継ぎ王子駅で下車です。王子駅から飛鳥山に登る「アスカルゴ」・モノレールカーに乗車して、あっという間に頂上へ。ちょっとした高台の桜の樹が多い公園になっており、皆で散策しながら博物館に向かいました。まずは、「紙の博物館」で専門の方の説明で紙のつくり方から使われ方、歴史がわかる世界的にもユニークな施設と時間が足りない位の説明をして頂きました。その内容はここでは、書き切れないので是非とも機会がありましたらお訪ね下さい。(チョットだけ、パピルスの本物がありました。ビックリ!!!)

昼食は隣の「北区飛鳥山博物館」の中にある、カフェで軽いランチを頂きましたが、ちょっと時間がなくて慌たしくなりました。その後は、自由行動の時間としました。各々が「北区飛鳥山博物館」及び「渋谷資料館」を見学されたとのこと。ここでもちょっとだけ、渋谷栄一は埼玉県出身(誰でも知ってる)でも、身長が1m53cmだとは、知っているかなあ。

3つの博物館を見学したあとは、王子駅前で自由解散となりましたが、希望者はそこから歩いて数分の「お札と切手の博物館」を見学しました。説明の方により偽造防止の技術など面白可笑しく説明して下さいました。そこでは、1億円の札束を持ち上げてニンマリとする方がおおぜいいました。(注釈:1億円の重さの紙の束でした)その、1億円の前で記念写真を撮り散会となりました。久々の好天のもとで熱中症も気になりましたが、全員無事に帰路につきました。



「紙の博物館」ハイ「カミー」



「お札と切手の博物館」 ハイ「イチオクエーン」